

2023年度 ニチキッズえべつ駅前保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～1月25日（木）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月17日（土）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化して改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念「おもいっきり遊ぶ・おもいっきり学ぶ」をしっかりと念頭におき子ども達がおもいっきり遊べるよう考え、子ども達が喜ぶ保育を行う事が出来た。また、保育士自身が楽しみ、子ども達が思いっきり楽しめる保育を心掛けた。
子どもの発達援助	子どもの成長に合わせ、遊びの内容・遊びの環境を考え、落ち着いて遊べる環境づくりを心掛けると共に、子どもが発する言葉をしっかりと聞き、言葉で語りかける事で、子ども達の言葉を引き出す保育を行う事ができた。
保護者に対する支援	朝夕のお迎えの時間には保護者とのコミュニケーションを取るよう心がけ、保護者が困っていると思う状況の時には声を掛け、保護者が少しでも安心できるよう支援することを心掛けた。
保育を支える組織的基盤	外部研修・内部研修を充実させ、職員が共通認識を持つために、職員会議で研修報告を行い資質の向上を目指してきた。今後も更なる向上を目指し積極的に外部研修を受講していく。

総評
保育理念を念頭に置き、年間指導計画、月間指導計画を立て取り組む事ができた。また、職員会議で子ども達の成長を確認し、次の月の日々の保育に生かし保育を進める事ができた。次年度は更に週案に具体的な目標を定め、一人ひとりの成長に必要な援助は何かを常に考え、子ども達が毎日笑顔で思いっきり遊べる環境作りを考えられる職員集団へと向上していきたい。また、保護者と信頼関係を築くためにも引き続き、登降園時のコミュニケーションを大切に信頼関係を深めていきたい。